

スマホをさわっただけなのに

夏期講習では、受験生に限らずたくさんの方が教室に来て勉強する姿が見られました。それはよいのですが、ノートやテキストと同じ机にスマホも置いてしまっている人がかなりいました。音楽を聴いたり、時計代わりに使ったりしているのかもしれませんが、視界の端にスマホがあると、それだけで集中力は下がってしまうものです。最低でもカバンの中に入れて見えなくするか、できれば受付で職員に預けるなどして、勉強中はスマホを完全にシャットアウトしてしまうことをおすすめします。特に受験生は、「あの時スマホをいじらなかつたら受かってたかも…」などとは思いたくないですよ。変えるなら今です。「でも、家族から電話がかかってきたら出ないといけないし…」というそのアナタに朗報です。簡単に使えるロック付きスマホコンテナをご用意しております。利用希望者は受付まで。(酒井昂佑)

9月・10月のおもなスケジュール		
9/26	日	自習室開室 (12:00~18:00)
30	木	新クラス発表
10/2	土	中3入試突破ゼミ (月3回) 中間直前ゼミ
3	日	英語検定1次試験 自習室開室 (12:00~18:00)
9	土	中3保護者会・中間直前ゼミ
10	日	自習室開室 (12:00~18:00)
12	火	テスト対策特別クラス終了
13	水	新クラス授業スタート
16	土	中3入試突破ゼミ (月3回)・数学検定
17	日	中3公開模試【会場受検】 自習室開室 (12:00~18:00)
20	水	プレハロウィンイベント
23	土	中3入試突破ゼミ (月3回) 中1・中2保護者会
24	日	第4回公開テスト【少4~中2】
25	月	小学生英語学習ハロウィンイベント
29~		授業回数調整【休室】

対策とは何か

競技の世界で活躍するためには対策をすることが重要です。自分の欠点、会場との相性、相手がいる場合はその攻略法など、手に入る情報はすべて使って自分の望む結果に近づこうとします。つまり、対策をするというのは情報を手に入れて分析することなのです。

これは勉強に関しても同じで、限られた準備期間の中でいかに情報を集めてそれを分析するか。ここが「テスト対策」の肝です。ただ単語帳を開いて眺める、漠然と漢字の書き取りをする、こういった勉強は本当に情報を分析したうえでの行動でしょうか。テスト対策授業の中で先生からすでに分析された情報をもらっていませんか？それを活用して勉強するとよい結果が出るでしょう。〔金子祐太〕



8/8~10 実施の中3 絶対合格36
合宿最終幕の特進館オーガニック
LIVE 風景。地元アーティストの演奏
が受験生を癒やしてくれました！

8月の“自習王”決定!

- ★中学生の部
中3 高木 麻佑 171.1 時間
- ★高校生の部
高3 安井 蓮 213.2 時間

まだまだ蕎麦を食べたい季節

蕎麦屋の隠語に「直実にしてくれ」というものがあるそうです。これは、そばを「あつもり」にして食べたいという意味表示なのですが、中高生の皆さんはピンとくるでしょうか。「直実」は「なおざね」、つまり一谷の戦いで平敦盛(あつもり)の首をとった熊谷直実のことです。こういう言葉遊びを面白いと思えるような感性を大事にしてほしいと思います。(酒井昂佑)

10月分 学費の振替

9月27日(月)
毎月の口座振替は27日(金融機関休業日の場合は翌日)となっております。受講変更等ございましたら毎月10日までにご連絡をいただけますよう、ご協力をお願いいたします。

アカン人たちが共通の言葉グセ

ヒトの脳細胞は、およそ140億個あると言われています。脳は生まれてから12年~15年で成長のピークを迎え、20歳で脳の質量は1400g前後になります。140億個あるヒトの脳細胞は、成人後は一切増えず、毎日約10万個ずつ死滅していくそうです。そのペースで死滅すると、脳細胞がすべてなくなるまでに何年掛かるでしょう？ 答えは「383年」です。

日本がいかに長寿国でも最高齢は118歳。383年の3割程度です。だから、自分の脳を今の3倍以上酷使しても全然問題ないという理屈。使えば使うほど、脳は磨かれます。

私が、今までに出会った人々の中で、「コイツは成功しないなあ」とか「アカンなあ」、「伸びないなあ」と、ついイライラしてしまうタイプの人に共通する言葉グセがあります。それは、「いま何時ですか?」、「きょう何曜ですか?」みたいな質問です。すぐにわかることでもアタマを使わず、他人に頼ることが常習化している人。自分の脳を甘やかして、ほとんど新品脳のままで人生を終えようとする。アカン人たちの典型です。「それくらい自分で考えろ!」と言いたくなります。加えて、「どうしたらいい?」というログセにもイラッとします。相手に頼らず、せめて「AかBのどちらがいい?」または「Aでいい?」ではないでしょうか? 脳を甘やかすことは、自分の夢や目標を捨てるに等しい行為だと考えています。〔北村昌弘〕



代表北村の独り言

コロナでどこへも旅行に行けない中3生のための塾の修学旅行『パンジージャンプツアー(9/23)』。パンジーを跳ぶのは女子ばかりで男子は1名のみ。男子諸君。もっと勇気をもってチャレンジせよ!

編集 後記

吹く風や空の高さに秋を感じるようになってきました。少し前まで10月1日は衣替えで、1週間程度の移行期間があるものの、学校や職場では制服が夏服から冬服にかわる時期でした。最近の学校は空調設備が整い、夏でもエアコンの風があたる席は寒いからと冬服を持って行ったり、逆に冬でも暑がりな子は夏服で過ごしたり…衣替えをあまり意識しなくなったような気がします。そのせいか、スカートやスラックスでさえ、冬なのに夏仕様のままだったり、一年中冬仕様だったり、穿いて何とも感じないのかとビックリすることがあります(;-)